

2018（平成30）年12月25日

各 位

株式会社FXトレード・フィナンシャル  
代表取締役社長 鶴 泰 治

### 当社の実質的オーナーの変更について

今般、株式会社FXトレード・フィナンシャル（以下「当社」といいます。）の実質的オーナーが下記のとおり変更しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### ■ 変更内容

当社の実質的オーナーが以下のとおり変更となりました。

##### 【変更日】

株式譲渡完了日 2018年12月21日（金）

##### 【変更前】

当社の完全親会社（親） FXTF HOLDINGS PTE LTD.（シンガポール）  
親会社の完全親会社（親の親） Upper Joyful Limited（BVI:英国領ヴァージン諸島）  
「親の親」の単独株主 チェン・リエ・メン・エリック<sup>1</sup>

##### 【変更後】

当社の完全親会社（親） 異動はありません。  
親会社の完全親会社（親の親） 異動はありません。  
「親の親」の単独株主 Goldenway Investments Holdings Limited<sup>2</sup>  
最高執行責任者 張 穂民（チョウ ホミン）<sup>3</sup>

---

<sup>1</sup> Cheng Lye Meng Eric。在シンガポール、個人。以下、「チェン氏」といいます

<sup>2</sup> 日本語呼称：ゴールドンウェイ・インベストメント・ホールディングス・リミテッド  
香港の有力金融グループ“ゴールドンウェイ（Goldenway）グループ”の持株会社  
以下、本文で「GW」といいます

<sup>3</sup> 英文名 Zhang Suimin

## ご参考： オーナー変更の概要



### ■ 経営体制

現在の経営体制<sup>4</sup>に変更はありません。

### ■ 新オーナー (GW) の概要

今般、経営権を取得したGWは、オンラインでの証券・先物・FX・貴金属取引を中心に事業を展開する香港系の金融グループの持株会社で、グループ全体で800名以上のマンパワーを有し、豊富な資金力と高い技術力、国際的なネットワークを背景に2009年の創設からわずか10年足らずの間に急激に業容を拡大してきております。

GWの概要は以下のとおりです。(連結ベース)

<sup>4</sup> 代表取締役社長 (鶴泰治)、取締役副社長 (小林彰彦)、取締役 (呉一帆)、監査役 (野口光夫)

1. 社名  
Goldenway Investments Holdings Limited  
(ゴールドウェイ・インベストメント・ホールディングス・リミテッド)
2. 本店所在地 (登記)  
28/F., TOWER 2, THE GATEWAY, HARBOUR CITY, T SIM SHA TSUI,  
KOWLOON, HONG KONG
3. 払込資本金  
84,500 千香港ドル (12 億 7 千万円※)
4. 資産 (2017 年 12 月末現在)
  - ① 総資産 1,734 百万香港ドル (260 億円※)
  - ② 株主資本 493 百万香港ドル (74 億円※)
5. 収益状況 (直前期 : 2017 年 12 月決算)
  - ① 売上高 3,634 百万香港ドル (546 億円※)
  - ② 営業利益 116 百万香港ドル (17.4 億円※)

※ ご参考までに 1HK \$ = 15 円で計算した邦貨換算額です。

6. 沿革  
2009 年にグループの前身、Goldenway Precious Metals Limited (GWPM) が香港に設立され、貴金属取引を開始、自社開発の主力取引プラットフォーム「GTS」をリリースしました。同年に持株会社 Goldenway Investments Holdings Limited を設立し GWPM を子会社化、さらに傘下に証券・先物・FX 子会社、投資顧問子会社を相次いで設立し、GWグループがスタート。2011 年から買収による海外進出を本格化し、米国 Goldenway Inc.<sup>5</sup> (現 Goldenway Financial Holdings Ltd)、英国 Goldenway Global Investments (UK) Limited (FCA 登録番号 : 185223。業務内容 : 金融商品全般) が事業をスタートしました。2013 年には GW グループとして英サッカープレミアリーグ “スウォンジー・シティ AFC” のメインスポンサーとして協賛、2018 年には GWPM が中国支社を設立、グループ初の中国大陸進出を果たしました。今般、当社を事実上傘下に置く形で、日本市場参入の第一歩を踏み出しました。

---

<sup>5</sup> 2011 年 11 月 Goldenway Inc. は米国 OTCBB に上場 (銘柄名称 : GWYI) し、2 年後の 2013 年 7 月には米国証券取引委員会に上場廃止を申請し、非公開会社となりました。

## ■ 背景および目的

ここ数年、為替相場の急変や多発するサイバー攻撃の脅威の高まり等、FX業界を取り巻く経営環境は大きく変化してきております。とりわけ、相場急変時のカバー先破綻リスクへの対応や巧妙化するサイバー攻撃、AML/CFTへの対応等、先送りできない重要課題は山積しており、FX業者には迅速かつ適切な対応が求められております。

このような環境の下、当社では、近く法令で義務化される見通しとなったストレステスト実施への対応及びテスト結果を踏まえた資本充実、システムを改良・構築するために必要なIT人材の確保、顧客基盤を拡充するカギとなる知名度・信用力・ブランド力の強化の3点を優先的に解決すべき重要課題と位置付け、スピード感をもってその対策を真剣に検討してまいりました。

以上を背景に、当社は、豊富な資金力とシステム人材を有し、流動性の提供に優れ、グローバル展開力がある海外業者との資本・業務提携を軸に検討を進めた結果、今秋には、候補先をGWに一本化し、GWによる事実上の買収も視野に入れて、具体化に向けた議論を重ね、水面下での交渉を続けてまいりました。当社は11月7日付でGWとの間で業務提携に関する基本契約を締結し、資金・流動性、マーケティング、システム、他、GWによる包括的な事業支援の枠組みで合意し、その延長線上で最終的に今般の買収に至ったものであります。

当社は、今後、GWから資金・流動性、マーケティング、システムをはじめ全面的な支援を受けることが可能となり、経営の安定性を高めることができるだけでなく、成長を一気に加速させることが可能になると考えています。

今回のGW傘下入りは、環境変化に遅れることなく、当社がFXビジネスで新たな成長フェーズに踏み出す、その第一歩であり、顧客利益の保護を目的に安定経営の下で事業を推進していくために必要な施策として決定したものであります。

当社は、今後、GWとのグループ間連携を強化しつつ、社名の変更も視野に入れて統合プロセスを加速してまいります。当社は、GW傘下でグループ・アジア戦略上の重要な日本営業拠点として、お客様とのエンゲージメント強化を推進し、顧客基盤の拡充に注力してまいります。現在、提供させていただいているサービスは全て継続しつつ、今後はGWと共同で新サービスの開発も積極的に進めていく予定です。

また、当社は、お取引先をはじめ、当社と関わりのあるすべての関係者とのこれまでの良好な関係を今後も維持してまいります。引き続き、お客様により安心してご満足いた

だけのサービスをご利用いただけるよう努めてまいりますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

(本件に関する問い合わせ先)

取締役副社長 小林彰彦

代表電話番号 03 4577 6777